

石川県生協連だより

第96号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コープいしかわ古府センター2F
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
 http://ishikenren.jp

発行日/2019年7月25日
 発行責任者/長谷川 隆史



長谷川会長理事の挨拶

開会にあたり、長谷川隆史会長理事の挨拶、来賓として石川県生活環境部生活安全課課長 坂井亮一氏、石川県労働者福祉協議会専務理事 中川博氏、日本生協連関西地連事務局長 北村洋氏よりご祝辞をいただきました。

第54回 通常総会開催

●開催日時 2019年6月17日(月) 13時30分～15時00分
 ●開催場所 石川県勤労者福祉文化会館2階ホール
 ●代議員出席 代議員定数32名、出席代議員数32名

その後、青海万里子専務理事より「2018年度活動報告・決算関係書類承認の件」について、吉本輝芳監事より監査報告が行われました。次に「2019年度活動方針・予算決定の件」「定款変更の件」「役員選任の件」「役員報酬決定の件」について

青海専務理事より提案がありました。議案審議では出席代議員5名から発言がありました。



日本生協連 関西地連事務局長 北村 洋氏



石川県労働者福祉協議会専務理事 中川 博氏



石川県生活環境部生活安全課課長 坂井 亮一氏

発言要旨

野々市市総合防災訓練に参加して

コープいしかわ 加野あけみ代議員

緊急時に備えるローリングストック

について説明した。今後も災害発生時

に向けた情報提供や学びの場作りをす

すめたい。生協連でも積極的な取り組

みを期待する。

石川県消費者大会に参加して

石川県学校生協 野口秀雄代議員

生協の「安心」「安全」は食・環境

だけでなく憲法を深く理解し守ってい

くことで国民の平和や日常生活の安心・

安全につながっていくと感じた。

組合員の病気・ケガを予防するための

健康企画

金沢大学生協 井上美紗子代議員

健康について楽しみながら学ぶ「い

きいきフェスタ」を開催している。今

後も健康について考える企画を提案し

ていきたい。

まちなみマップのとりくみ

金沢医療生協 堀井三吉代議員

組合員が、自分たちの住んでいる町

が安心・安全で住みよい町かどうか、

実際に歩いて点検している。11回目の

2018年度は「通学路・生活道路の

道路標示(白線)チェック」に取り組

んだ。今後も続けていきたい。

県連あり方検討委員会へ参画
石川県共済生協 織田泰範代議員

理事会の諮問機関である検討委員会にメンバーとして参加した。委員会は2030年に向けて会員生協の期待される役割と活動のあり方、財政について6項目に整理した。共済生協としても県連の取り組みに参加、協力していきたい。

青海専務理事の答弁

●コープいしかわは、全ての市町と災害時協力協定を結んでいる。これからもさらなる組合員の参加の広がりを目指す。

●「憲法」の学習会は消費者教育の一環として、主権者教育の根幹として憲法を知る必要性から開催した。やり方を工夫することで生協でもいろいろな取り組みができる。チャレンジしてほしい。

●金大生協からは学生の健康企画の報告をいただいた。食と健康はこれからの大きなテーマであり、若い人の体験型学習は大切である。他生協とも連携した取り組みを広げてほしい。

●医療生協のまちなみマップの取り組みは地域に密着しており、改善された成果により生協への信頼も増してきている。このスキルを他生協へも広めてほしい。

●県連あり方答申は会員生協、行政、関係団体を訪問、ヒアリングしまとめた。生協連だけでなく生協として

のあり方にも関わってくる。会員生協でも課題としてとらえ成果につなげてほしい。

議決状況

第1号議案 2018年度活動報告・決算関係書類承認の件

第2号議案 2019年度活動方針・予算決定の件

第3号議案 定款変更の件

第4号議案 役員(理事9名・監事3名)選任の件

〈理事〉

再任 長谷川隆史、堀口亮一、大谷学

坂口辰彦、柴原ひろみ、後本康裕

新任 安部友美、中多晃、檜原弘樹

〈監事〉

再任 吉本輝芳、上野睦子、北俊之

第5号議案 役員報酬決定の件

1・2・4・5号議案については賛成多数により、3号議案については出席者の3分の2以上の賛成により原案通り可決承認しました。

総会終了後に開催された第1回理事会で役員体制が承認されました。

会長理事 長谷川隆史、副会長理事 大谷学、専務理事 堀口亮一

長年生協活動にご尽力された前専務理事の青海万里子氏は、今総会をもつて退任されました。

なお、横山和男氏は顧問に選任されました。

なご、横山和男氏は顧問に選任されました。

適格消費者団体

消費者支援ネットワークいしかわ(CSNI)の活動

身近な契約・契約トラブルの情報をお知らせください

2019年5月18日(土)に第6回NPO法人消費者支援ネットワークいしかわ通常総会が開催され、全議案が可決・承認されました。引き続き、静岡大学教授色川卓男氏より「成年年齢引き下げと消費者教育」と題してご講演いただきました。

昨年度は消費生活トラブル法律相談ホットライン等の相談・情報提供をもとに、11事業所に対し申入れや要望書を行い、内4事業所について改善。現在、その他の事業所については改善の検討をしていただいていところ。例えば、

「5分で稼げる」等のホームページを見てアプリを購入したが、全然儲からなかった。今年度も引き続き、平日の9時〜17時に消費生活トラブル相談ホットラインを実施します。みなさんの相談や情報提供によって、事業者に契約書や広告などを見直してもらえば、多くの消費者が同じトラブルに巻き込まれないようになります。

「このチラシおかしくない?」「このホームページって本当?」など些細な疑問でもかまいません。みなさんの相談・情報をお待ちしています。

消費生活トラブルを防ぐために
身近な契約・解約トラブル
情報をお知らせください!



「このチラシおかしくない?」「このホームページって本当?」など些細な疑問でもかまいません。みなさんの相談・情報をお待ちしています。

☎076-240-1012

(CSNI) 笹谷 悦子

つながりの輪

石川県生活学校連絡会

県生協連とともに、NPO法人消費者支援ネットワークいしかわに加入し、多彩な消費者活動をしている石川県生活学校連絡会をご紹介します。

石川県生活学校連絡会

昭和45年7月20日、県内10校で発足しました。現在、生活学校10校・生活会議2校加盟、約400人の会員とともに、身近な地域や暮らしの問題を「事前活動（学習、調査）」「対話集会（話し合い）」「事後処理活動（実践、チェック）」を通して解決し、生活や地域・社会のあり方を変えていく運動を行っています。また、全国生活学校連絡協議会（約400団体）と共に全国運動も展開しています。

今年度の主な活動

- ◎ 共通課題解決のため、学習や課題を見つめる地区別研究集会（金沢・加賀）の開催
- ◎ 重点課題「安心して在宅介護ができるしくみになっているのか」医療と介護の連携」解決のため、県民

意識調査（1000部）の実施
結果を基にした関係機関との対話
（第45回石川県生活学校大会）の開催

◎ 県消費生活支援センターや県警察本部、県内20の消費生活相談窓口調査を行い（平成25年から実施）、それを基にした提言を行う消費者市民社会づくり研究集会の開催

◎ 食品ロス削減運動継続

昨年度作成した食品ロス啓発グッズ（左写真）の活用
フード・ドライブの実施

（石川県生活学校連絡会事務局 林 貴江）



石川県生活学校大会で挨拶する
中谷純子会長



食品ロス削減啓発グッズ

ヒバクシヤ国際署名 七タキヤンペーン

ヒバクシヤ国際署名七タキヤンペーン（ヒバクシヤ国際署名をすすめる石川の会主催）が、7月7日、近江町市場エムザ口前で開催され、会員30人がチラシを配るなどして署名を呼びかけました。署名は日本原水爆被害者団体協議会を通じ、国連に届けられます。

ヒバクシヤ国際署名（ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名）は「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きているうちに何としても核兵器のない世界を



「あなたとあなたの家族、すべての人々を絶対に被爆者にならないために」と署名を呼びかける県生協連の安部理事

実現したい」との想いから被爆者が提起してはじめた署名。県内の生協ではもちろん、世界中で取り組まれています。



署名を集める県生協連 企画運営委員長の藤岡氏

2020年5月にニューヨーク国連本部で開催される核拡散防止条約（NPT）再検討会議に向けて、全国の生協の仲間とともに累計300万筆を目標にヒバクシヤ国際署名に引き続き取り組んでいきます。

（生協連 高木 晴美）



会員生協紹介

たすけあいの輪をむすぶ こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会



石川県共済生協

全労済から

「こくみん共済coop」になりました。

全労済は、2018年6月から新たな中期経営政策「New-Zealwork」のもと、「お役立ち」発想と「共創」活動で、新しい全労済をつくる取り組みを進めています。

その取り組みのひとつとして、さらに多くの方々に親しんでいただき、愛される存在となるため、新しい姿を表す愛称として「こくみん共済coop」を定め、2019年6月より活用することといたしました。

「こくみん共済coop」とは、「こくみん みんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する、協同組合（coop）である」ことを表しています。取り巻く環境が益々厳しさを増すなか、創立60周年を節目に、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という変わらぬ理念の実現にむけ、「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていきます。

（石川県共済生協

鶴山 香央里）



奥園壽子先生の料理教室

「こーぷいしかわ

食と健康の取り組み

「中高年層を中心とした健康づくり」

こーぷいしかわでは、「私の食と健康」をテーマに掲げて中高年層を中心とした健康づくりに取り組んでいます。

2018年度は2つの取り組みを実施しました。1つ目はテレビ番組「たけしの家庭の医学」などにも出演されている料理研究家、奥園壽子氏を講師にお招きした料理教室です。組合員134名が健康づくりに役立つ料理や調理の工夫を学びました。2つ目は食習慣調査票（BDHQ）の活用に関する講演会です。自分の食習

慣を知り栄養摂取の改善のきっかけとするため、開発者の佐々木敏先生（東京大学教授）を講師にお招きし、組合員80名が学習をすすめました。

これらの参加者には、食習慣調査票に取り組んでいただき、自らの食習慣を知り改善のきっかけとしたほか、石川県民の食習慣の統計的な課題の抽出に取り組みしました。その結果、石川県では「食塩」と「飽和脂肪酸」を取りすぎる人が多い傾向にあることがわかりました。

このことを受け、本年度は日本生協連の「ヘルシーこーぷ※」のアイデアも取り入れながら、「食塩」と「飽和脂肪酸」の減少のヒントとなる料理教室やレシピの募集に取り組んでいくことにしています。※健康サポート食品の開発や、ライフステージに合わせた健康課題に対応するレシピ提案など、こーぷ商品を通じて食卓から健康をサポートする取り組み

（こーぷいしかわ 藤岡 潤）



JCA(一般社団法人日本協同組合連携機構)協同組合連携部主任研究員 佐藤 憲司 氏

新連載 協同組合連携

今年県内で協同組合が交流する機会が再び動きだします。今回からシリーズで協同組合連携の事例をご紹介します。まずはJCAの佐藤憲司氏に発足についてご紹介いただきました。

「日本協同組合連携機構(JCA)」の発足について

1 JCA設立の経緯

日本協同組合連絡協議会(略称JJC・JA・生協・漁協・森林組合・ワーカーズコープ・共済・労働金庫など協同組合の全国組織17団体で構成)は、1956年に設立以来、協同組合間相互の連携、海外協同組合との連携等を行ってきました。

JJCは2016年10月、「協同組合間連携の強化を通じて、協同組合セクターの目的・意義を明確にし、協同組合が地域で果たす役割・機能の可能性を協同組合セクター自らが広げていく」ために、協同組合間連

2 JCAの設立趣意

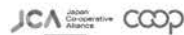
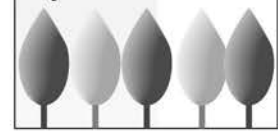
近年、貧富・機会の格差拡大、社会の分断や孤立などが世界的に問題となつています。さらに我が国には、人口減少・少子高齢化、地方の活力低下、若年層に厳しい雇用環境等、様々な課題があり、行政だけではこれらの課題を解決することは困難となつています。協同組合に対しては、ユネスコ文化遺産への登録やSDGs(持続可能な開発目標)における協

同組合への期待のように、国際社会においては社会的問題解決のための役割が期待されている一方、我が国では政府による農協改革等、協同組合に対する厳しい動きがみられます。地域の課題把握・解決に向けた協同組合の役割が期待される中、協同組合が今まで以上に地域・都道府県・全国で連携を強化し、「持続可能な地域によりよいくらし・仕事づくり」に取り組んでいくことが必要です。JCAはこのような目的で、協同組合間の連携を促進し協同組合の共通の価値を高める新たな連携組織として発足しました。

3 持続可能な地域によりよいくらし・仕事づくりに貢献

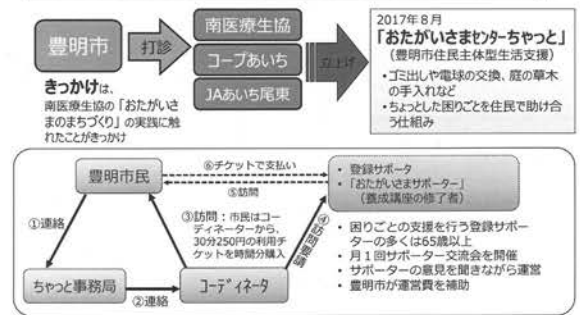
生協とJA・漁協が取り組む産直連携は古くから取り組まれていますが、地域の二次産業活性化に向けてJA・漁協・森林組合が連携して産物をアピールする取り組み、漁協が森林組合・生協等と連携して豊かな森を創る取り組み、高齢化する地域の中で様々な協同組合が連携し助け合いや居場所づくり・仕事づくりを行う取り組み、子どもたちの健やかな成長のため協同組合同志が子ども食堂や農業体験等で連携する取り組み、貧困問題への対応や就労困難な人の働

く場づくりを協同組合が連携して行う取り組み、災害からの復興のための協同組合間連携による取り組み等既に全国各地で様々な協同組合間連携が取り組まれています。全国機関が連携することが目的ではなく、それぞれの地域で、協同組合が連携してその力を一層発揮し、豊かで公かつ持続可能な地域社会を創っていくことがその目的です。そのためJCAでは、都道府県段階の協同組合連携組織と連携しながら、多様な協同組合からなるJCAの知見・情報・ネットワークを活かし地域における様々な協同組合間連携を支援し拡大する役割を担っていきます。



高齢者の困りごと解決

南医療生協、コープあいち、JAあいち尾東(愛知県)



県生協連活動日誌

- 4月 9 CSNI専門部会① 県女性センター
 13 CSNI理事会① 県女性センター
 18 企画運営委員会① 県生協連事務所
 23 県消費者大会実行委員会⑤
 県勤労者福祉文化会館
 26 県防災総合訓練打ち合わせ会議① 野々市市役所
 27 第90回石川県統一メーデー、フードドライブ実施
 四高記念公園
- 5月 8 役員推薦委員会①、第7回理事会 コープたまぼこ
 10 東海北陸県連協議会 三重県津市
 11 悪質商法追放キャンペーン 香林坊アトリオ前
 14 県農業活性化協議会 石川県農業会館
 14 広報委員会① 県生協連事務所
 17 監事監査 県生協連事務所
 18 CSNI第6回通常総会・講演会・懇親会
 県女性センター
 19 「はだしのゲン」をひろめる会 総会
 石川県保険医協会
 21 企画運営委員会② 県生協連事務所
 21 石川高専生協 第17回総代会
 石川工業高等専門学校
 23 金沢大学生協 2019年度通常総代会
 金沢大学北福利食堂
 24 旅行業公正取引協議会 第6回消費者懇談会
 TKP金沢新幹線口会議室
 25 大学生協事業連合 2019年度通常総会
 大学生協杉並会館
 28 MCA無線訓練 県生協連事務所
 31 役員推薦委員会② 県生協連事務所
- 6月 3 おりづる実行委員会② 松ヶ枝福祉館
 3 CSNI専門部会② 県女性センター
 5 第8回理事会 コープたまぼこ
 10 金沢市ガス事業・発電事業あり方検討会
 金沢市役所
 11 石川県学校生協 第71回通常総代会
 金沢市ものづくり会館
 12 コープいしかわ 第20回通常総代会
 県地場産業振興センター
 14 日本生協連 第69回通常総会
 ホテルイースト21東京
 16 金沢医療生協 第28回通常総代会
 県青少年総合研修センター
 17 県生協連 第54回通常総会 第1回理事会
 県勤労者福祉文化会館
 19 労福協第58回通常総会、
 ライフサポートセンター第17回定期総会
 県勤労者福祉文化会館
 21 コープ北陸事業連合 第23回通常総会
 ホテル日航金沢
 26 CSNI消費者部会① 金沢市女性センター
 27 企画運営委員会③ 県生協連事務所
 28 (公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議総会
 県地場産業振興センター

生協連・会員生協 行事

■サタデーともろこし コープいしかわ

日時 7月27日(土)
 ①8:00～ ②9:30～ ③11:00～
 場所 コープいしかわ本部

■第30回 学校生協ボウリング大会 石川県学校生活協同組合

日時 7月27日(土) 10:00～
 場所 百万石リゾートレーン

■平和のパネル展2019 石川県生協連

日時 8月2日(金)～16日(金)
 10:00～20:00(最終日は16:00まで)
 オープニングセレモニー
 8月2日(金) 10:30 開会
 11:00 Yassy(安原昭二さん)の紙芝居
 場所 石川県庁19階展望ロビー



■コープマルシェ2019南加賀 コープいしかわ

日時 9月16日(月)
 第1部 10:00～11:30
 第2部 12:30～14:00
 第3部 14:30～16:00
 場所 根上総合文化会館タント

■健康まつり 金沢医療生協

日時 10月20日(日) 10:00～13:00
 場所 けんろく診療所

編集
後記

秋田県、山梨県、石川県、大阪府、山口県、徳島県。この1府5県に共通していることがあります。それは協同組合が連携する組織が現時点で存在していない都道府県です。

先日、協同組合連携組織の全国交流会に参加させていただきました。全国では地域の課題解決に向けて協同組合が連携する事例がどんどん生まれています。

石川県内においても1990年代にあった石川県協同組合協議会の活動再開に向けて機運を高める取り組みをすすめて行く予定です。会員生協の皆様の積極的な参加をよろしく願います。

(専務理事 堀口亮一)